

政策室

地域の未来創造委員会

委員長／堀 哲也 副委員長／宮田 和希 委員会幹事／野口 純平
委員／国立 朋裕 小林 周平 櫻井 千明 濱谷 健太 藤井 辰吉 吉田 誠
前田 剛臣 河村 賢治

1 当委員会は、時代に挑戦する変革の能動者である私たちと、有機的な関係を築いた行政
2 と住民の、主体的な街づくりに取り組む思いが地域創生の原動力となり、新たな価値観を
3 取り入れた活動から、地域の変革につながるイノベーションを創出し、持続可能な活力あ
4 る街の実現につながる活動をつくりあげ、地域と共に夢ある函館の未来を創造するよう活
5 動してまいりました。メンバーを対象とした2月例会は、今後の活動の方向性を見出し、
6 活力溢れる函館創造へ向けて、未来をイメージしながら具体的に行動する意識の醸成を目的と
7 して実施しました。市長講演では、現在の函館における政策や今後のビジョンなどをお話
8 いただき、委員会プレゼンでは、地域の未来を担う若者と共に新たな価値観を取り入れた、
9 課題解決型の活動が必要であるという提案をさせていただき、理事長対談では、活動の方
10 向性やイメージを提示し、市長からは取り組みを行う際に若い職員の参加について快諾い
11 ただいたことで、具体的に実行へと移すことが出来ると感じました。また、青年団体、高
12 等教育機関、公共団体職員を巻き込んだ、5月から7月に開催された未来へ活かす学習会
13 は、高等教育機関の教授らに講師となっただき、課題解決型思考の学習と、実際の課
14 題解決に向けた意見交換で知見を得ました。そして、メンバーと市民を対象とした8月例
15 会は、元気な街の実現に向けて主体性を持って街づくりに関わろうとする意識の醸成を目
16 的として実施しました。委員会プレゼンでは、産学官民連携の必要性と未来へ活かす学習
17 会の内容について把握していただき、政策アカデミーでは持続可能な地域発展につながる
18 課題解決策として、地場資源を活かした国内観光客向けの政策、地場飲食店におけるイン
19 バウンド客向けの政策、地場産業の課題解決に向けた政策について、それぞれ実現性や実
20 行のイメージを共有することで、活力溢れる函館の創造へ向けた活動の可能性を感じてい
21 ただき、産学官連携を担当している教授からは、高等教育機関が主催している取り組みの
22 内容を話していただき、例会参加者が連携による活動に対して可能性を感じたことで、全
23 体を通して今後街づくりを主体的に行っていくためのきっかけになることが出来たと感じ
24 ております。防災ネットワークの推進については、災害に強い地域の未来を創造するべく、
25 地域社会との連携を強めるために、物資や人材の配置などスムーズな運営で災害支援を行
26 えるよう、函館市とLOMによる防災協定を2018年度に締結させる運びとなりました。

27 最後に、当委員会は一年間皆様のご協力のもと無事に運営を行うことができました。委
28 員会メンバーは例会や未来へ活かす学習会の構築・運営により、達成感・充実感や結束を
29 高めることができました。また、委員会やJCの枠を超えて得られた人脈は、街づくりを
30 目的とするJC活動にとって、活力溢れる函館を創造していくうえで大きな糧になったと
31 考え、人づくり、街づくりから、地域と共に夢ある函館の未来の創造につながったと確信
32 しております。